

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公表番号】特表2017-516820(P2017-516820A)

【公表日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2016-570876(P2016-570876)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/05 (2006.01)

A 6 1 K 31/202 (2006.01)

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/66 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/05

A 6 1 K 31/202

A 6 1 K 31/232

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/66

A 6 1 K 47/24

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月20日(2018.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 以下からなる溶媒系：

- 3 多価不飽和脂肪酸又はそのアルキルエステル、及び

脱油ホスファチジルコリン濃縮レシチン、又はホスファチジルコリンが 92% よりも多い量で存在する脱油ホスファチジルコリン濃縮レシチン、又は E p i k u r o n (商標) 200 からなる群より選択されるイオン性乳化剤；並びに

(b) レスベラトロール又はレスベラトロール含有天然抽出物

を含む組成物であって、

さらに、溶媒系 1 m l に対して 5 m g よりも多いか又は 5 m g と等しい量のレスベラトロールが完全に可溶化されていることを特徴とする組成物。

【請求項 2】

- 3 多価不飽和脂肪酸 (n - 3 P U F A) が、エイコサペンタエン酸 (E P A)、ドコサヘキサエン酸 (D H A) 又はその混合物からなる群より選択されることを特徴とする請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

エイコサペンタエン酸とドコサヘキサエン酸との比 (E P A / D H A) が 0.5 ~ 2 であることを特徴とする請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】

- 3 多価不飽和脂肪酸 (n - 3 P U F A) が、E P A 及び D H A の含有量が脂肪酸総重量に対して 75 重量% ~ 95 重量%である脂肪酸の混合物であり、かつ n - 3 P U F A の総含有量が、脂肪酸総重量に対して少なくとも 90 重量%であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 5】

- 3 多価不飽和脂肪酸 (n - 3 P U F A) が、E P A 及び D H A の含有量が脂肪酸総重量に対して少なくとも 85 重量%である脂肪酸の混合物であり、かつ n - 3 P U F A の総含有量が、脂肪酸総重量に対して少なくとも 90 重量%であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

- 3 多価不飽和脂肪酸 (n - 3 P U F A) が、E P A エチルエステル及び D H A エチルエステルを 0.9 ~ 1.5 の比で含む混合物であり、脂肪酸総重量に対して、E P A エチルエステルの含有量が 40 ~ 51 重量%であり、かつ D H A エチルエステルの含有量が 34 ~ 45 重量%であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

- 3 多価不飽和脂肪酸 (n - 3 P U F A) のアルキルエステルが、エチルエステル、メチルエステル若しくはプロピルエステル又はその混合物からなる群より選択されることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

- 3 多価不飽和脂肪酸 (n - 3 P U F A) の量が、0.5 ~ 1.0 g であることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

- 3 多価不飽和脂肪酸 (n - 3 P U F A) の量が、0.8 ~ 0.9 g であることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】

- 3 多価不飽和脂肪酸 (n - 3 P U F A) の量が、0.9 g であることを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】

ダイエタリーサプリメント又は経口投与用薬剤の形態である請求項 1 ~ 10 のいずれか

に記載の組成物。

【請求項 1 2】

さらに、1 若しくは複数のビタミン、1 若しくは複数のミネラル、1 若しくは複数の補酵素、1 若しくは複数の抗酸化剤及び / 又は 1 若しくは複数の植物抽出物を含む請求項 1 ~ 1 1 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 3】

さらに、少なくとも 1 つの薬学的に許容可能なベヒクル又は賦形剤を含む請求項 1 ~ 1 2 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 4】

軟ゼラチンカプセルの形態である請求項 1 ~ 1 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 5】

脂質代謝障害及び血小板凝集の増大に起因する心臓血管疾患；アテローム性動脈硬化症、癌、炎症性関節疾患、喘息、糖尿病、老人性認知症及び変性眼疾患からなる群より選択されるフリーラジカルに起因する損傷；並びに / 又はウイルス性疾患を予防又は治療するための請求項 1 ~ 1 4 のいずれかに記載の組成物。